

泡盛マイスター 韓国で養成講座



7月開講で提携

泡盛マイスター協会(新垣勝信会長)と写真左は、韓国(ハバ)リッジマスター協会(李碩絃会長)と泡盛マイスター認定講座「琉球泡盛学」を開設すること業務提携した。講座は7月23日から約1週間、韓国ソ

ウル市内で開かれる。9日、県庁で調印式があり、李会長が新垣会長ら泡盛マイスター協会の5人の役員らに特任教授の委嘱状を交付した。同協会から海外に講師を派遣し講座を開くのは、台湾に続き2例目。

受講生は20〜30代の男女17人で、書類審査や面接などを経て決定。学科・実技の講義を30時間受け、試験合格後には沖縄で1年間のインターンシップも予定されている。

会見で新垣会長は「泡盛の輸出拡大にもつながるチャンスだ。将来的には韓国の大学など

で講座が持てるよう連携を強化していきたい」と意気込んだ。

李会長は「泡盛を使ったカクテルなどを学ぶことによって、受講生には韓国と沖縄の懸け橋になってもらいたい」と期待した。

韓国(ハバ)リッジマスター協会はバーテンダーやソムリエ、バリスタ、ホテルサービスなど、飲料に携わるプロを養成し国家資格を認定する団体。5年前に泡盛マイスター協会と姉妹協定を結んだ。講座は人材育成プログラムの一つに位置付けられ、韓国政府労働部が85%補助するという。